

2008年度 予算の概要

I. 一般会計資金収支予算

1. 収入の部

収入総額は、682億2,390万円であり、前年度と比較して156億4,228万円（18.7%）減となります。主な要因は、『資産売却収入』の「不動産売却収入」の減少と、『その他の収入』のうち、明高中新校舎建設の特定資金として第2号基本金から繰り入れた「引当資産繰入」等が減少したことによるものです。

(単位：千円)

科 目	予 算 額	前年度比増減額	増減率%
学生生徒等納付金収入	36,173,302	1,228,237	3.5
手数料収入	3,359,958	352,169	11.7
寄付金収入	351,022	△ 462,499	△ 56.9
補助金収入	3,648,296	△ 3,230	△ 0.1
資産運用収入	955,573	13,954	1.5
資産売却収入	3,000,000	△ 1,780,000	△ 37.2
事業収入	553,620	80,923	17.1
雑収入	1,979,048	28,686	1.5
前受金収入	7,563,603	619,005	8.9
その他の収入	3,420,827	△ 5,221,380	△ 60.4
資金収入調整勘定	△ 7,632,871	1,361,756	△ 15.1
前年度繰越支払資金	14,851,524	△ 11,859,905	△ 44.4
収入の部合計	68,223,902	△ 15,642,284	△ 18.7

主な款別内訳は、次の通りです。

- (1) 『学生生徒等納付金収入』は、361億7,330万円を計上。前年度と比較して12.3億円（3.5%）の増収（予算基礎学生数は32,395人、前年度比416人増）です。
- (2) 『手数料収入』は、33億5,996万円を計上。このうち主な内容は、「入学検定料収入」の33億1,995万円、入学志願者数は、111,239人（大学入試センター試験、全学部統一入学試験、編入学試験、高等学校・中学校入学試験等の入学検定料を含む。）を見込みました。
- (3) 『寄付金収入』は、3億5,102万円を計上。主な内容は、教育振興協力資金として2億円、その他研究所指定寄付金、TLO奨学寄付金及び寄付講座寄付金等を1億5,102万円を計上しました。
- (4) 『補助金収入』は、36億4,830万円を計上。
 - ① 「国庫補助金収入」は、32億9,538万円を計上。このうち「経常費補助金」については、30億円を計上。「研究設備補助金」は、7,222万円、「研究装置等補助金」は1億9,449万円を計上しました。
 - ② 「地方公共団体補助金収入」は、3億4,101万円を計上。これは、主に高等学校・

中学校に対する「東京都補助金」です。

③ 「その他補助金収入」は 1,190 万円。主なものはイノベーション実用化助成事業です。

- (5) 『資産運用収入』は、9 億 5,557 万円を計上。主に「受取利息・配当金収入」及び施設設備貸出による利用料収入です。
- (6) 『資産売却収入』は、30 億円を計上。前年度末に保有する短期運用債券買い換えのための売却収入です。
- (7) 『事業収入』は、5 億 5,362 万円計上。内容は紫紺館からの「補助活動収入」と「農場収入」「診療所収入」「受託事業収入」です。
- (8) 『雑収入』は、19 億 7,905 万円を計上。このうち「私立大学退職金財団」からの交付金が 9 億 1,220 万円、「リバティアカデミー受講料収入」が 3 億 420 万円、教職員が拠出する「年金掛金収入」が 2 億 7,895 万円及び「その他の雑収入」が 4 億 8,369 万円です。
- (9) 『前受金収入』は、75 億 6,360 万円を計上。主に年度内に受け入れる 2009 年度新入生の学生生徒等納付金の見込額です。
- (10) 『その他の収入』は、34 億 2,083 万円を計上。「退職給与引当資産からの繰入収入」1 億 186 万円、奨学金等の「貸付金返還金」6 億 7,700 万円、「未収入金収入」22 億 2,090 万円です。
- (11) 『資金収入調整勘定』は、76 億 3,287 万円を計上。これは、前記の各収入予算額のうち当期に資金の受入が行われない「期末未収入金」及び「前期末前受金」を収入予算額から控除するものです。
- (12) 『前年度繰越支払資金』は、148 億 5,152 万円を計上。前年度末の現預金有高の見込額です。

2. 支出の部

支出総額は、収入総額と同額 682 億 2,390 万円です。

(単位：千円)

科 目	予 算 額	前年度比増減額	増減率%
人 件 費 支 出	26,729,123	878,070	3.4
教育研究経費支出	12,319,717	1,557,064	14.5
管理経費支出	1,998,217	△ 525,789	△ 20.8
借入金等利息支出	0	△ 2,700	△ 100.0
借入金等返済支出	0	△ 55,550	△ 100.0
施設関係支出	1,855,035	△ 19,083,871	△ 91.1
設備関係支出	1,666,539	△ 975,200	△ 36.9
資産運用支出	6,015,000	1,500,000	33.2
その他の支出	5,324,525	△ 994,646	△ 15.7
予備費（資金）	400,000	0	0.0
資金支出調整勘定	△ 3,918,780	181,436	△ 4.4
次年度繰越支払資金	15,834,526	1,878,902	13.5
支出の部合計	68,223,902	△ 15,642,284	△ 18.7

主な款別内訳は、次の通り

(1) 『人件費支出』内訳

「教員人件費支出」	156.5 億円	(前年度比	8 億 7,654 万円増)
「職員人件費支出」	78.5 億円	(前年度比	2,262 万円増)
「役員報酬支出」	1.1 億円	(前年度比	17 万円増)
「退職金支出」	14.9 億円	(前年度比	9,126 万円減)
「年金給付金支出」	16.2 億円	(前年度比	7,000 万円増)

人件費支出総額では、267 億 2,912 万円、前年度比 8 億 7,807 万円増。「教員人件費支出」には、採用費（専任教員）による 6 億 7,963 万円（68 名分）を計上。

(2) 『教育研究経費支出』は、123 億 1,972 万円を計上。前年度と比較して 15 億 5,706 万円（14.5%）の増加。

(3) 『管理経費支出』は、19 億 9,822 万円を計上。前年度と比較して 5 億 2,579 万円（20.8%）の減少。

『教育研究経費支出』・『管理経費支出』については、教学運営体制の整備，教育・研究関連実施計画の推進，社会貢献・連携・共同事業の推進等への配慮を行いました。重点施策として教育面では，①国際日本学部・大学院教養デザイン研究科等の開設，②教育改革の支援，③教育開発・支援センター関連経費の確保及び学習支援活動の推進，④就職・キャリア形成支援センター充実策の支援強化，⑤入学センターの展開支援，⑥「教育の情報化推進本部」及び「情報基盤本部」教育環境のプレゼン化等の積極的展開支援，⑦学生支援の充実・展開，⑧国家試験指導センターの施設拡充及び国家試験対策の強化，⑨文化プロジェクトの継続推進，⑩付属校・系列校等に関する政策の展開支援などです。また研究面では，①研究・知財戦略機構の推進，②私立大学学術研究高度化推進，③産学官連携戦略展開事業への取り組み支援，④研究施設総合整備基本構想の推進，⑤産学官連携の推進，⑥特色あるプロジェクトの実施，⑦調布市・三鷹市遺跡調査研究の推進などの経費が織り込まれています。

(4) 『借入金等利息支出』・『借入金等返済支出』は，私学振興・共済事業団からの借入金が完済したため 0 円。

(5) 『施設関係支出』は，18 億 5,504 万円を計上。内訳は次の通り。

①「土地支出」は，1 億 5,500 万円。これは法定外公共物（赤道等）の取得によるものです。

②「建物支出」は 13 億 926 万円。主な項目は次の通り。

- ・国際交流会館（仮称）建設経費
- ・和泉校舎（第一校舎）・生田校舎（第二校舎 6 号館）空調設備更新工事
- ・登戸研究所展示資料館（仮称）の設置
- ・三地区省エネに対応する中長期更新工事

③「構築物支出」は 98 万円。

④「建設仮勘定支出」は 3 億 8,140 万円。内訳は次の通り。

- ・和泉新図書館建設

- ・生田第二校舎D館（仮称）建設
- ・農場統合化計画の経年整備
- ・学生会館及び部室センター空調機の設置
- ・和泉校舎部室棟・第二学生会館エアコン設置工事

(7) 『設備関係支出』は、16億6,654万円を計上。内訳は、次の通り。

①「教育研究用機器備品支出」等	11億8,288万円
②「図書支出」	4億7,556万円
③「車輛支出」	810万円

(8) 『資産運用支出』は、60億1,500万円を計上。内訳は、次の通り。

①「有価証券購入支出」30億円は、短期運用債券買い換えに伴う購入費。	
②「生田第二校舎D館建設引当資産支出」	15億円
③「農学部黒川新農場開発引当資産支出」	5億円
④「和泉新教育棟建設引当資産支出」	5億円
⑤「和泉新図書館建設引当資産支出」	5億円
⑥「第3号基本金引当資産支出」（奨学基金等）の積立	1,400万円
⑦「特定引当資産支出」の積立 （指定寄付金・積立金果実の積立）	100万円

(9) 『その他の支出』は、53億2,453万円を計上。内訳は、次の通り。

①「貸付奨学金支払支出」	5億9,950万円
②「退職給与貸付金支出」等	2億6,000万円
③「前期末未払金支払支出」	43億1,200万円
④「保証金支払支出」	303万円
⑤「前払金支払支出」	1億5,000万円

(10) 『予備費（資金）』は、前年度と同額4億円を計上。

(11) 『資金支出調整勘定』は、39億1,878万円を計上。前記の各支出予算額のうち当期に資金の支払いが行われない「期末未払金」及び「前期末前払金」を支出予算額から控除するものです。

(12) 『次年度繰越支払資金』の158億3,453万円は、年度末の現預金有高の見込額です。

『前年度繰越支払資金』より9億8,300万円増加しています。

(13) 目的科目別支出内訳については、巻末に表示しました。

Ⅱ. 一般会計消費収支予算

1. 消費収入の部

消費収入合計は、帰属収入合計から『基本金組入額合計』を控除した 412 億 5,933 万円であり、前年度と比較して 134 億 9,462 万円 (48.6%) の増加。資産売却差額の減少に伴い帰属収入が減少したものの、「基本金組入額合計」も減少したため、消費収入の部合計は増加となりました。

(単位：千円)

科 目	予 算 額	構成率%	前年度比増減額	増減率%
学生生徒等納付金	36,173,302	76.8	1,228,237	3.5
手数料	3,359,958	7.1	352,169	11.7
寄付金	411,022	0.9	△ 462,499	△ 52.9
補助金	3,648,296	7.7	△ 3,230	△ 0.1
資産運用収入	955,573	2.0	13,954	1.5
資産売却差額	0	0.0	△ 1,776,321	△ 100.0
事業収入	553,620	1.2	80,923	17.1
雑収入	1,979,048	4.3	28,686	1.5
帰属収入合計	47,080,819	100.0	△ 538,081	△ 1.1
基本金組入額合計 (△)	△ 5,821,489	12.4	14,032,703	△ 70.7
消費収入の部合計	41,259,330	87.6	13,494,622	48.6

(1) 帰属収入合計は、470 億 8,082 万円であり、前年度と比較して 5 億 3,808 万円 (1.1%) の減。各科目の内容及び金額は、『寄付金』及び『資産売却差額』を除いて資金収入予算と同じです。消費収入の『寄付金』には、消費収入固有の『現物寄付金』 6,000 万円が計上されています。

(2) 『基本金組入額合計』は、58 億 2,149 万円を計上。第 1 号から第 4 号の基本金の内訳は、次の通り。

①第 1 号基本金 (当期取得資産)

土 地
建 物
構 築 物
建設仮勘定
教育研究用機器備品
その他の機器備品
図 書
車 両

27 億 5,749 万円

1 億 5,500 万円
13 億 881 万円
98 万円
3 億 8,140 万円
4 億 1,105 万円
2,277 万円
4 億 6,556 万円
1,192 万円

②第2号基本金	生田第二校舎D館（仮称）建設計画	15億円
	農学部黒川新農場開発計画	5億円
	和泉新教育棟建設計画	5億円
	和泉新図書館建設計画	5億円
③第3号基本金	奨学基金等	1,400万円
④第4号基本金	恒常的支払資金	5,000万円

2. 消費支出の部

消費支出の部合計は、464億8,429万円であり、前年度と比較して9億5,720万円(2.1%)の増。

(単位：千円)

科 目	予 算 額	構成率%	前年度比増減額	増減率%
人 件 費	26,404,522	56.8	935,274	3.7
教 育 研 究 経 費	17,293,476	37.2	566,356	3.4
管 理 経 費	2,331,433	5.0	△ 497,793	△ 17.6
借 入 金 等 利 息	0	0.0	△ 2,700	△ 100.0
資 産 処 分 差 額	20,450	0.0	△ 36,389	△ 64.0
徴収不能引当金等繰入額	34,412	0.1	△ 7,550	△ 18.0
予 備 費 (消 費)	400,000	0.9	0	0.0
消 費 支 出 の 部 合 計	46,484,293	100.0	957,198	2.1

主な款別内訳は、次の通り。

(1) 『人件費』は、264億452万円を計上。

① 「教員・職員人件費及び役員報酬」は、資金支出予算額と同額。

② 「退職金」は、7億8,217万円を計上。資金支出「退職金支出」の約50%相当額です。

③ 「退職給与引当金繰入額」は、6億907万円を計上。これは、2008年度末における退職給与引当金（退職金要支給総額の50%）の必要額を補填するものです。

④ 「年金引当金繰入額」は、13億9,425万円を計上。年金会計に係わる法人負担金、教職員の掛金及び年金基金の果実の総額です。

(2) 『教育研究経費』は、172億9,348万円を計上。これは、資金支出予算額に消費支出固有の科目「減価償却額」49億7,376万円を加えた額です。

(3) 『管理経費』は、23億3,143万円を計上。これは、資金支出予算額に消費支出固有の科目「減価償却額」3億3,322万円を加えた額です。いずれの「減価償却額」も、残存価額（取得価額の10%）から償却最終年度に備忘価額1円を残した償却方法に改正したため、差額分が従来の「建物」・「機器備品」等の固定資産の当期償却額に計上されています。

(4) 『資産処分差額』は、2,045万円を計上。

(5) 『予備費（消費）』は、資金支出と同額計上。

3. 消費収支差額の部

「消費収入」が412億5,933万円、「消費支出」が464億8,429万円の結果、「消費支出」が「消費収入」を上回った収支差額、52億2,496万円が消費支出超過となりました。

Ⅲ. 年金会計予算（一般会計から抜粋）

年金会計は、特別会計として一般会計とは独立していましたが、2000年度予算から一般会計に統合して取り扱うことになりました。ただし、参考として年金会計については、一般会計から抜粋して、従来の特別会計様式での表示をしています。

収入・支出総額は、16億1,700万円。前年度と比較して7,000万円（4.5%）の増加です。2008年度予算では、「一般会計から受入」「掛金収入」「年金引当資産繰入」について増加する見込みです。「年金給付金」の給付が「一般会計から受入」「掛金収入」「資産運用収入」を上回るため、結果として「年金引当資産」を2億2,275万円取崩す見込みとなりました。2008年度末の「年金引当資産」は、約122億円になる見込みです。

1. 収入の部

- (1) 『一般会計から受入』は、8億9,843万円を計上。「法人負担金受入」4億1,843万円、「法人資金受入」4億8,000万円です。
- (2) 『掛金収入』は、2億7,895万円を計上。
- (3) 『資産運用収入』は、2億1,687万円を計上。
- (4) 『年金引当資産繰入』は、2億2,275万円を計上。

2. 支出の部

- (1) 『年金給付金』は、16億1,700万円を計上。内容は、「普通年金」13億5,000万円、「扶助料」2億5,200万円、その他が1,500万円です。

以 上